

		1. 13	岸首相渡米・安保改定阻止京都集会。渡米阻止大集会参加のため京都平民共闘代表第1陣73人東上		
		1. 14	京都市議会、社会党提案の安保改定反対決議案を否決		
1. 19	岸首相、日米新安保条約に調印 ◇全労、民社党支持・安保改定への態度など決定				
1. 23	総評の労働者同志会、「労働運動前進のために」発表。日本の労働組合主義を主張				
1. 24	民主社会党結成、委員長=西尾末広				
1. 25	三井三池鉱業所、全山をロックアウト、三池労組は無期限ストに突入				
2. 5	政府、新安保条約及び関連協定案件を国会へ上程				
		2. 21	民社党京都府連合会結成。委員長=永末栄一、書記長=井家上専		
		2. 24	京都府中小企業団体中央会、全国にさきがけて中小企業労働相談員制度を設置		
		3. 7	府議会、世界連邦平和宣言を決議		
3. 17	三井三池労組分裂、三池炭鉱新労組結成(3.22 全労、新労組支援を決定)	3. 13	自民党府連、安保改定推進演説会	1. 30	京医労双岡病院労組、賃上げ・ユニオンショップ制要求などで無期限スト(25 第2組合結成、全労が支援を決定。2.4 スト中止。6.25 解決)
		3. 20	国際婦人デー記念文化祭	3. 10	京教組、勤評反対統一行動、府内540の小・中・高校で一斉行動
4. 15	安保改定阻止第15次統一行動。国会請願デモ開始(～6.18)	4. 1	府議会、自動車取得税案を可決	3. 19	安保改定阻止統一行動。市内6カ所で地区別決起大会、のち府庁に向けデモ。安保改定阻止・生活と権利を守る大行進入浴 ◇京旅同盟、給与体系の改善などを要求し、第1波実力行使(5.8 統一闘争解決)
4. 16	中国共産党、機関紙・紅旗に「レーニン主義万歳」発表。中ソ対立表面化	4. 15	京都平民共闘、安保批准阻止・三池支援京都総決起大会。円山から東本願寺前までデモ	4. 21	京都総評、第1次三池支援オルグ団派遣
4. 19	韓国・ソウルで大規模反政府デモ(4.27 李承晩大統領辞任)	4. 24	京都平民共闘、安保阻止国会請願第1次上京団50人派遣	4. 26	安保改定阻止第15次第2波統一行動、安保批准阻止・三池支援京都春闘総決起大会、1時=国公地公共闘会議、3時=府学連、5時=民間労組の3回にかけて集会とデモ
4. 28	沖縄県祖国復帰協議会結成	4. 29	京都会館開館		
5. 9	北京で安保反対100万人集会				
5. 19	自民党、国会に警官隊導入し、単独で会期延長と新安保条約承認を強行採決	5. 20	安保反対・国会解散要求京都抗議集会、行政区毎に開催	5. 31	全労京都・民社党府連、議会政治擁護・岸内閣退陣・安保反対。総選挙要求国民運動京都安保6.4統一行動。全通・全電通・府職労・京都市職など1～2時間の時間内集会。京交労組、早朝の3割減車。京教組、一時間目授業カット。島津労組、夕刻3,500人の独自デモなど
6. 4	安保阻止第17次統一行動。交通関係労組を中心に実力行使、560万人	6. 4	平民共闘、安保批准阻止・国会解散・岸内閣打倒京都集会 ◇京都市内の商店約80軒が閉店スト(6.15 400軒、6.22 200軒)	6. 4	
6. 8	総評第14回臨時大会(～9、大牟田)米大統領来日反対・三池争議支援決議	6. 8	鴨沂高校生500人、自民党府連前までデモ(全国初めての高校生安保反対デモ)		
6. 10	ハガチー米大統領秘書来日、羽田でデモ隊に乗用車の運行を阻止され、ヘリで脱出	6. 11	京都平民共闘、安保批准阻止・国会解散・岸内閣打倒・民主主義擁護・アイク訪日反対京都抗議大会官公労、文化団体・学生、民間労組の3回にわけ二条城前広場で開催、3万人。都部6カ所でも集会・デモ ◇各婦人団体、安保阻止京都婦人総決起大会。500人、風船デモ6.13 京都地区大学教授団結成、国会解散を要求する声明	6. 15	全国金属・新産別半日ストなど。行政区ごと8カ所の地域集会とデモ
6. 15	全学連デモ隊、国会突入。女子学生死亡				
6. 16	政府、米大統領の訪日延期を要請	6. 16	府学連、全京都学生抗議集会。6千人、喪章を付けて		
6. 19	日米新安保条約、午前0時自然成立。総評、安保不承認声明				
6. 22	安保阻止第19次統一行動、国鉄など交通運輸中心に実力行使、600万人。閉店スト6万店	7. 1	府学連大会、安保阻止闘争の評価で反主流派退場し、主流派のみで議事続行	6. 22	各労組、安保不承認抗議統一行動。スト・集会など。雨の中で3回にわけて決起大会、2

7. 15	岸内閣総辞職 (7. 19 池田勇人内閣成立)	7. 2	京都平民共闘、全面軍縮・核武装阻止・新安保不承認・国会即時解散・不当弾圧粉碎京都大集会		
7. 25	身体障害者雇用促進法公布	7. 19	勤労者学園、京都総評・京都民間労後援で時局講座「新安保体制と日本の民主主義」(29日まで4回)		
8. 10	三池争議に中労委が最終あっせん案(第3次)を提示	7. 29	安保・原水禁地域討論集会(～8. 4)	8. 3	国労京都支部運輸分会、国労脱退を決議(8. 8 新国労京都地方労組結成)
9. 5	池田内閣、所得倍増計画を発表			9. 15	京都総評・京都公務員共闘会議、全京都公務員賃上げ総決起大会
9. 6	炭労臨時大会、中労委あっせん案による事態收拾を承認、226日間の三池争議に幕			10. 5	京都市交通局労働組合結成
9. 15	公務員共闘第1波統一行動、一律3千円賃上げ要求(公務員共闘第1次賃上げ闘争はじま	10. 5	山本宣治の映画化「武器なき闘い」、美松劇場・宇治東映で上映開始	10. 8	京都総評第10回大会(～9)
10. 12	浅沼社会党委員長、日比谷公会堂の3党首公開演説会で右翼の少年に刺殺される	10. 20	京都平民共闘、新安保粉碎・浅沼虐殺抗議・池田内閣打倒京都集会	10. 25	京都医労連、統一闘争で一気に賃上げ・人員確保など要求提出
10. 13	社会党第19回臨時大会、江田三郎委員長代行、構造改革論を提起			11. 6	総同盟府連第1回大会
10. 20	安保条約反対第23次統一行動(最後の統一行動)			11. 9	全労京都第5回大会、議長＝西村竜蔵(全織同盟)
11. 8	米大統領選挙、民主党のケネディ当選	11. 20	総選挙、当選1区＝自民2、社会1、民社1、共産1、2区＝自民2、社会2、民社1	11. 13	日本中央競馬関西西馬丁労組、年末手当などで無期限スト、京都競馬場で第2組合と衝突し30人負傷
11. 20	第29回衆議院選挙、民社党後退	11. 25	小児マヒから子供を守る対策協議会結成、署名活動などを決定	11. 17	京都医療労組共闘会議結成、京都総評・京医労・民医連など参加
12. 20	南ベトナム解放民族戦線結成	12. 2	府医師会・府保険医協会、宣伝カーに「病院ストは無理もない」とのプラカードを掲げて日赤労組激励	12. 2	第一・第二日赤労組、外来部門で1日スト
		12. 4		12. 4	丹後地方繊維労働組合協議会(丹織連)結成
		12. 13		12. 13	京都総評・公務員共闘、第5次統一行動京都決起大会
		12. 27	京都市、13日の時間内職場集会について市職幹部を処分、市職全執行委員総辞職		

1. 3	米、キューバと国交断絶				
1. 9	炭労、閉山条件付賛成へ政策転換 (2.20 政府に石炭政策転換を申し入れ)	1.17	府医師会、医療費単価引上げで政府の態度を不満として、国保指定を総辞退	1.20	京都市職、前年末に辞職した前執行部全員を再選
2. 1	右翼少年、嶋中央公論社長宅をおそう (嶋中事件)	2.16	映画「松川事件」を祇園会館で上映 (~25)	2. 4	京都総評・京都平民共闘合同旗びらき、映画「松川事件」試写
3. 3	滝田全労会議議長、ケネディ米大統領と会見	2.25	京教組・父母など、第1回高校全員入学大会	2.17	国労京都支部・京都平民共闘、京都駅中央改札口で国鉄運賃値上げに反対して京都ではじめての乗客大会
3. 6	社会党第20回大会、構造改革論を基調とする方針決定、委員長=河上丈太郎	3. 7	全労京都と民社党府連、「公共料金並びに物価値上げ・電気・ガス・入場税反対会議」結	2.18	「失業と貧困に反対する国民大行進」入洛、京都大集会
3.29	安保改定阻止国民会議、「安保条約反対・平和と民主主義を守る国民会議」(安保反対国民会議)に改組	3.16	第一日赤外来患者代表、組合にスト中止を申し入れ	3. 4	京都総評、大幅賃上げ京都総決起大会
4. 1	国民年金制度発足	4.14	府会民生労働委、全自交争議について事情聴取、市観光協会、使用者側に早期解決を要望	3.10	第一・第二日赤、外来・事務部門で無期限ストに入る (~17)
4.12	ソ連、人工衛星ボストーク1号打上げ成功 (ガガーリン搭乗) ◇総評・全労・新産別・中立労連の4団体、週休2日・週40時間労働促進労組懇談会発足	4.22	京都総評・京都平民共闘など、全自交支援共闘会議を結成	3.24	全自交地運賃上げ要求でスト突入 (4.1 無期限ストに切り替え、京都市内の60%のタクシーがストップ)
4.28	沖縄で祖国復帰県民総決起大会、6万人	4.23	府立植物園、15年ぶりに再開園	4. 5	洛北友禅労組、賃上げスト突入 (統一ストは26日から、6.21 75日目に解決) ◇丹後織物加悦労組、賃上げ要求でスト突入 (4.13 妥結してスト中止)
5. 1	キューバ、社会主義共和国宣言 ◇総評、週刊誌「新週刊」創刊号を発行	4.24	府立植物園、15年ぶりに再開園	4.22	京都総評・京都平民共闘など、全自交支援共闘会議を結成
5.13	自民・民社両党、政治的暴力防止法案(政暴法)を衆議院に上程 (1962.5 廃案)	4.26	最高裁、旭ヶ丘中学事件について、市教委の処分無効審理は不十分と二審判決を破棄	4.23	全労京都第1回婦人の集い
5.14	米大統領、南ベトナム派兵決定	4.27	府医師会臨時時代議員会、京都市と覚え書きに調印し国保指定総辞退を解く	4.26	京都総評、全自交闘争支援で組合員1人100円カンパと総評本部への支援要請を決定
5.16	韓国で朴正熙による軍事クーデター (1979年まで政権続く)	5. 1	第32回メーデー、中央メーデーに戦後最高の10万人が参加、南北コースのほかにも婦人・市民コースを設置	5. 1	第32回メーデー、中央メーデーに戦後最高の10万人が参加、南北コースのほかにも婦人・市民コースを設置
5.20	政暴法反対第1次統一行動 (10月末まで8次の統一行動)	5.12	府医師会臨時時代議員会、京都市と覚え書きに調印し国保指定総辞退を解く	5.16	丹後織物網野労組、賃上げで無期限ストに入る (6.17 解決)
6. 2	安保反対国民会議、政暴法強行採決に反対して国会デモ (8日まで連日請願デモ)	5.16	政暴法反対第1次抗議団47人東上	5.19	政暴法反対第1次抗議団47人東上
6.12	農業基本法、公布施行	5.25	春闘第5次統一行動、市内8カ所で開催	5.25	春闘第5次統一行動、市内8カ所で開催
7.10	全学連大会分裂、全自連は全学連再建協結成	6. 1	京都総評、「政暴法粉碎、全自交・洛北友	6. 1	京都総評、「政暴法粉碎、全自交・洛北友
7.25	日本共産党第8回大会 (~31)、新綱領を採択	6. 3	政暴法粉碎・網野労組共闘全丹後決起大会 (網野小)	6. 3	政暴法粉碎・網野労組共闘全丹後決起大会 (網野小)
8. 2	総評第17回大会 (~6)	6. 5	京都地区大学教授団・京都各大学教職組・京都文化人懇話会、政暴法反対・強行採決抗議総決起集会を開催し円山まで風船デモ (立命労働者と産業を守る会、網野町民決起大会開	6.15	池田渡米反対・政暴法粉碎・弾圧反対京都決起大会
		6.11	京都総評・松対協、松川被告団全員を迎え、松川事件無罪要求京都決起大会	6.17	丹後織物網野労組、25%賃上げ・一時金一律2千円支給などで妥結
		6.23	民主団体・京都総評など、小児マヒ対策で、府・京都市に要請	6.28	全自交地運、全組合員と家族の集約大会を開催し争議終結を確認、97日ぶりにスト解除
		6.29	第1回世界宗教者平和会議 (~28)、京都で開催		
		7.25	日本最古の京都市電北野線、廃止		
		7.31			

8. 8	仙台高裁、松川事件差戻審で全員に無罪判決(21 検察側再上告)	8. 6	松川事件現地調査団京都代表出発 (8. 8 松川判決報告集会)		
8. 9	第7回原水禁世界大会 (~14)、「いかなる国」の核実験問題で紛糾				
8. 13	東独、東西ベルリンの境界を封鎖、ベルリンの壁構築				
9. 1	ソ連、核実験再開 (米も9月15日に再開)	9. 5	社会党府連、ソ連核実験再開に抗議声明		
9. 6	労働者同志会を解散し、総評社会党員全国連絡協議会を結成				
9. 9	炭労臨時大会、石炭政策転換闘争方針を決定 (~12)	9. 13	京都原水協常任理事会、ソ連核実験再開をめぐって意見対立し、今後は各団体独自の行動をとることを申し合わせ	9. 14	弥栄自動車労組、春闘総括で100日ストは戦術的に誤りと批判的見解
				9. 20	京都総評・京都平民共闘、政暴法粉碎京都府民決起大会
		10. 1	京都うたごえ祭典	10. 3	京都総評、石炭政策転換大行進・部落解放請願大行進を迎え、「政暴法粉碎・石炭政策転換・部落解放要求京都総決起大会」
		10. 6	京都総評・府職労・京都市労連・婦人団体・民主団体など、京都自治体共闘会議を結成	10. 7	京都総評第11回大会 (~8)
		10. 21	日本平和委員会・平和大会京都実行委員会、軍事基地撤去・安保体制打破日本平和大会 (~22、舞鶴)	10. 18	全自交地連大会、春闘総括をめぐって弥栄労組と京聯労組が対立し無期休会に入る
10. 23	炭労第1次動員で4千人上京、陳情・国会請願デモなど (11・26 2次 12・15 3次)	10. 24	京都市教委、学力テスト実施について職務命	10. 26	京教組、中学校学力テスト拒否闘争
10. 26	全国一斉中学校学力テスト。日教組、反対闘争を組織			10. 30	京都総評・京都平民共闘、政暴法継続審議反対・会期延長阻止京都決起大会
				11. 8	京都私立保育園保母労組結成 (全国ではじめて。のち、京都私立保育所労組と改称)
11. 15	民社党・全労など、核兵器禁止・平和建設国民会議 (核禁会議) 結成			11. 30	全労京都第6回大会
11. 27	公明政治連盟結成			12. 8	京都総評、高山市政打倒・年末諸要求貫徹決起大会
		12. 21	社共両党・京都総評、京都市長選統一候補に加賀田進を決定、京都府市民会議結成 (12. 26 民主市政確立・府市民会議結成総	12. 19	京都市労連、高山打倒年末決起大会、のちデモ (市役所前)
		12. 29	府教委、京教組の学力テスト闘争で停職6人を含む40人の処分発表。京教組、不当処分撤回まで闘い抜くと声明	12. 28	全自交地連再開大会、自己批判を含む方針案を満場一致で承認

1. 11	大田総評議長、向坂逸郎と連名で社会党の構造改革論を批判					
1. 18	全労第8回大会（～20）、「産業民主主義の確立と労組の責任」発表					
		1. 26	全京都市市民会議、「がんばろう決起大会」、民主市政確立・春闘勝利を決議		1. 22	京都総評、最低賃金業者間協定に反対し、最低賃金審議会へ抗議、自動車パレード。知事に「京都から1万円以下の労働者をなくす行政指導の確立」を申し入れ
		2. 1	京都市市長選挙。高山義三四選、ほかに加賀田進ら立候補		2. 4	京教組を中心にした「平和と民主教育を守る府民行進」、久美浜を出発（24 府庁に到
2. 8	米国防総省、南ベトナムに軍事援助司令部設	2. 12	炭労政転闘争逆オログ団入洛（～24）		2. 18	京都府繊維労働組合連絡協議会（府繊連）結成。郡是・合織・丹後織物労組が参加
		3. 1	京都市内で小児マヒの生ワクチン投与はじま		2. 28	保津川遊船労組、賃上げなど要求（4.10 会社側休船決定。労組は自主的に船下り運行。5.3 解決）
		3. 17	社・共・民社・京都総評・全労京都の5者で京都市民主府政協議会結成		3. 3	国労京都自動車分会、職場集会。京都総評、ビケ支援（国労は工場閉鎖反対、新国労は希望配置転換促進）
		3. 24	勤労者学園、総会および創立5周年記念祝賀		3. 14	東映従組（大部屋演技者で組織）、賃金体系の改善など要求（5.19 解決）
		3. 30	京都市、市長選で「市民税が高くなる」とのビラ配布責任者として京都市職三役を免職		3. 28	京都総評、春闘貫徹・日韓会談粉砕・地方自治確立京都大会
		3. 31	京都市教委、前年の学力テスト反対闘争で中教組役員4人を懲戒免職		4. 3	京都総評・自治労府本・京教組、京都市の処分に対し抗議集会
		4. 1	府財政再建計画完了し、自主財政スタート		4. 10	私鉄7組合、春闘で24時間スト。全自交12組合、4時間の時限スト。ほか民間各労組、24時間ストなどの実行行使
4. 11	日本宗教者平和協議会（宗平協）結成	4. 11	知事選挙、蛭川虎三四選。ほかに植木光教ら立候補		5. 30	京都総評、核実験禁止・軍備全廃・憲法改悪・物価値上げ反対京都大会
4. 14	日本婦人会議結成				6. 22	京都総評・平和委員会など、「全京都平和祭典」
4. 25	米、クリスマス島で水爆実験再開	5. 7	第1回科学者京都会議（～9）、湯川秀樹など3人が呼びかけ			
4. 26	全日本労働総同盟組合会議（同盟会議）結成。25組合、140万人。議長＝中地熊造（全労・海員組合）、事務局長＝天池清次（総同	5. 20	高校全入・学力テスト反対府民集会			
5. 3	国電三河島事故、二重衝突で死者160人	5. 25	ガガーリン少佐（ソ連宇宙飛行士）入洛、府庁前で歓迎集会			
5. 7	継続審議中の政暴法案廃案		◇京都地方最賃審議会、西陣織物・西陣着尺織物・西陣毛織物3組合の業者間協定を認め、1日300円の最低賃金を答申			
5. 29	総評、雑誌「新週刊」廃刊を決定	6. 14	丹後半島一周道路開通		7. 23	京都総評、京都労働基準局の最賃行政を不満とし、京都最低賃金審議会から京都総評選出委員引揚げを決定
7. 1	第6回参議院選挙。革新系振るわず	7. 1	参議院選挙。当選＝自民1、社会1			
7. 3	アルジェリア独立	7. 11	京都の学力テスト。一部で生徒によるボイコットや白紙、無記名答案が出る。京都総評・民主団体、各中学校へ抗議行動			
7. 23	新日窒水俣労組、ロックアウトに対抗し全面無期限スト（1963.1 解決）	7. 26	京都原水協、府下平和行進を迎え原水爆禁止京都大会			
8. 1	第8回原水爆禁止世界大会（～6）。最終日に社会党・総評の「ソ連核実験再開抗議」緊急動議で紛糾、大会宣言採択なし	8. 9	社会党府連、原水禁世界大会で京都代表団が「あらゆる国の核実験に反対する原水協の基本原則を侵した」と非難声明			
8. 5	ソ連、核実験再開	8. 19	第8回日本母親大会（立命大、1万8千人参加、第2日目は大阪府立体育館）、会場へ右翼がおしかけ			
8. 24	総評第19回大会（～28）。「新週刊」問題・原水禁運動で対立	9. 4	福知山市、選挙違反で公民権停止の判決を受けた市職幹部2人を懲戒免職		9. 6	京都総評、7月末以来委員を引揚げていた最低賃金審議会への復帰を決定
9. 1	失対打切り反対共闘会議結成				9. 10	全日自労府支部、失対打切り・京都市清掃局の機械化による配転に反対して、対市交渉（9.15 市役所前で大八車のゴミぶちまけ、市は就労禁止処分）

9. 18	原水協常任理事会無期流会（事実上の分裂）	9. 21	飯野舞鶴造船所、臨時工248人の解雇を通告（9. 27 労組一括返上）	10. 1	京都映演労組連絡協議会結成（大映・松竹・東映・京都総評など参加） ◇全造船舞鶴分会の臨時工106人、強行就労闘争に突入
10. 5	共産党第4回中央委、「総評は労働者の結集体としては不十分」との見解表明			10. 8	京都総評創立10周年記念祝賀会（10. 10～11 記念文化祭）
10. 19	新日本婦人の会結成			10. 27	京都総評第12回大会（～28）、原水禁運動・国際自由労連の評価等で意見対立。議長＝松井 徹（自治労）
10. 20	中国・インド国境で武力衝突発生				
10. 22	ケネディ米大統領、ソ連のミサイル基地撤去を求めキューバ海上封鎖を宣言（キューバ危	10. 30	高校学カテスト、実施率72%。鴨沂（全日制）・洛北（定時制）で生徒がボイコット。京都総評、学カテスト反対闘争で支援動員	11. 1	京都総評・全農林など、京都消費者米値値上げ反対共闘会議結成
10. 28	フルシチョフ・ソ連首相、キューバから攻撃的武器の撤収を表明（11. 20 米の海上封鎖解除）	11. 8	高校全入を実現する会、「高校全入市民大会」開催	11. 22	国際自由労連副会長ルーサー一行入洛、京都駅前で全自交・京教組・府職労など、「ルーサー帰れ」のデモ、出迎えの京都総評役員と
11. 7	春闘共闘委、ヨーロッパなみの賃金獲得を強	11. 23	新日本婦人の会京都府本部結成	11. 24	京都同盟会議結成、議長＝夏木瀬梅太郎（関電）、事務局長＝鷲塚亨（総同盟）。（総同盟府連、全労京都など参加）
		11. 27	飯野舞鶴造船所、860人の人員整理をふくむ企業再建計画を発表。全造船舞鶴分会、人員整理による再建計画に反対して17時間のスト	11. 30	舞鶴造船分会支援共闘会議結成
12. 3	社会党・総評など、原水爆禁止と平和のための国民大会（～4）、あらゆる国の核実験に反対を決議（広島アピール）			12. 1	京都総評常任幹事会、「ルーサー事件」について、「京都総評の出迎えは誤りでなく、駅前の事態は遺憾である」と多数決で確認
12. 8	炭労、石炭4法案の国会上程に反対し、非常事態宣言。大手13社労組無期限スト（～20）	12. 14	舞鶴造船所問題で舞鶴市長・市議会のあつせんによる交渉（12. 21解雇人員減少などで解決。争議終了後、日立造船系列化に）	12. 15	府職労、徹夜交渉話し合いつかず、早朝から1千人が座り込み（賃金闘争年を越す）
		12. 15	西陣労働センター開所		

1. 1	中国「人民日報」、ソ連を暗に批判する社説掲載				
1. 7	ソ連共産党、中国共産党をはじめて名指して非難				
1. 10	滝田全労議長、日韓会談を認めると発言。岩井総評事務局長、日韓会談を安保闘争規模で闘うと発言				
1. 17	全労第9回大会（～19）、7年間で賃金倍増目標決定				
		1. 26	綾部市、年末闘争指導の市職委員長を懲戒免	1. 22	全労京都第7回大会。議長＝夏木瀬梅太郎（関電）、事務局長＝藤下忠男（新国労）
				2. 12	自治労府本・綾部平民共闘会議、不当処分粉碎大抗議集会
				2. 16	全自交地連、基本給一律5千円引上げ・最賃1万円など統一要求書を提出（8.8 174日目に解決。統一交渉32回、統一行動33回など）
				2. 17	農村労働組合京都府協議会結成
				2. 19	日韓会談粉碎中央行動上京団314人出発
2. 21	日本原水協、「いかなる国の核実験にも反対」の声明を採択（2.23 共産党、声明に反対表明）				
2. 27	全国民主化運動連絡会議（全国民連）結成。総評・中立労連の右派グループ結集				
2. 28	日本原水協常任理事会、ビキニ集会統一の調整つかず、安井都理事長ら辞任（3.1 焼津で2つの集会）				
		3. 3	府警、前年末の闘争にからみ綾部市職役員3人逮捕	3. 3	新産別京都地連大会、横断賃率要求など決定
		3. 5	京都原水協、翌日のビキニ集会の運営方法について意見対立。原水協主催はとりやめ（3.6 京教組・平和委員会など実行委をつくり別途開催）		
		3. 25	社会党府連、成田書記長をむかえ演説会。全電通京都支部委員長など100人が集団入党	3. 26	京都総評、市内6カ所で春闘集会、京都市役所・京都駅へ求心デモ
		4. 7	部落解放同盟京都市協議会、市教委の教員異動に反対して、不当人事反対・教育環境改善要求京都市全部落総決起大会		
		4. 17	地方選挙。府会＝自民22、社会16、共産6、民社2、公正連1、無所属13。京都市会＝自民24、社会13、民社8、共産8、公正連7、無所属8	4. 10	私鉄総連9労組、半日ストなど
4. 26	日本学術会議、米原潜寄港反対を声明				
4. 28	北緯27度線で初の沖縄祖国復帰要求海上交歓			4. 27	島津労組、100時間の全面ストに突入（5.8 第5波全面ストに突入。5.10 妥結）
5. 1	埼玉県狭山市で女子高校生殺人事件（23 容疑者として石川一雄逮捕。狭山事件）			5. 1	全自交地連、24時間スト。ステッカー闘争始まる（タクシー車体に要求項目を書入れ）
5. 12	F105D戦闘爆撃機、板付基地に配置（5.18 配置反対福岡県民集会）			5. 17	全自交地連傘下の弥栄自動車労組、単独妥結（5.22 明星タクシーも）
				5. 20	京都総評・京都平民共闘、安保破棄・日韓会談粉碎・原潜寄港反対・ILO条約批准・全自交支援京都総決起大会
		5. 29	北部の地労協・京都総評など、米原潜寄港阻止・F105D水爆戦闘爆撃機配備拒否・米潜水艦宮津入港抗議決起集会（宮津市島崎公	5. 29	京聯自動車労組脱退者、京聯第一労組を結成。闘争ステッカーを消し、スト不参加を決める
		6. 13	社会党府連、23日神戸で開かれる米原潜阻止集会について参加を拒否	6. 2	全自交地連、ステッカー闘争を中止
		6. 16	原水禁実委・京都総評など、米原潜寄港反対・F105D配置反対・平和を守る舞鶴集会		
		6. 17	阪急電鉄、大宮・河原町間地下鉄運行		
		6. 19	京都総評・京都平民共闘、米原潜寄港反対京都総決起大会	6. 20	全自交地連脱退者による京都地区労働組合協議会結成
6. 23	米原潜寄港反対集会（神戸・横須賀）	6. 24	府議会、米原潜寄港・F105D機持込反対、失対法一部改正反対など3意見書を採択	6. 28	全国税の一部組合員、闘争方針を批判して京都国税職員労働組合を結成
7. 1	四日市公害対策協議会結成				
		7. 3	沖縄返還要求国民大行進をむかえ沖縄返還要求・原潜寄港反対決起集会		
7. 5	中ソ共産党、論争打開のためのモスクワ会談（7.20 決裂）	7. 14	社会党府連第20回大会。「知事5選反対」を「首長の多選反対」と修正。府支部連合会を府本部に改称。「社会新報京都版」で全自交地連指導部を批判	7. 23	京都総評・交通運輸労組京都地協・全自交地連・全自交顧問弁護団・社会党府本・共産党府委の6団体、経営者が組合側の争議責任を追及する態度に抗議の声明
7. 25	総評第23回大会、「新週刊」責任処理をめぐって太田議長・岩井事務局長辞任。改めて再選（～29）			7. 28	化学同盟第一工業製薬労組臨時大会、合理化・原水禁運動などで対立・流会（10.15 多数派が化労連第一工業製薬労組結成）

		7.30	京都原水協、世界大会への代表派遣をめぐって対立。31日も調整つかず		
		8. 1	京都原水協に社会党・京都総評代表参加せず、事実上分裂状態		
		8. 4	第9回原水禁大会京都代表団、2派にわかれて広島に出発（900人、目標を大幅に上回）		
8. 5	米英ソ3国、部分核停条約調印（8.14 日本調印）	8. 5	広島で「代議員証」をめぐって両派のトラブル発生		
	◇第9回原水爆禁止世界大会（～7、広島）	8. 9	松川事件即時無罪確定要求大行進入浴、京都集会（広津和郎が講演）		
8. 6	総評・社会党、不参加を決定	8.24	社会党府本など、市電バス料金対策共闘委を結成（8.28 京教組・自治労など7団体、市電バス値上げ反対実委を結成）	8.24	国労福知山地本で200人が脱退、新国鉄福知山地方労組を結成
	社会党・総評など、独自の「原水禁運動を守る決起集会」			8.30	京都総評常任幹事会、京都原水禁実行委員会の拡充強化と京都原水協からの役員引上げを
9. 1	安保反対国民会議第12次統一行動（最後の統一行動）。米原潜日本寄港反対9・1集会（佐世保・横須賀）	9. 7	民社党・同盟会議など、核兵器禁止平和建設京都府民会議を結成		
9.12	松川事件再上告審で最高裁、上告棄却の判決。全員の無罪確定	9.30	臨時京都市議会、市電バス値上げ案は自民・社会・市民クラブの賛成により可決。府学連50人、市会議場で抗議	9.12	京都総評・京都国民救援会、松川判決京都祝賀集会
		10. 1	近鉄、奈良電鉄を併合。近鉄京都線に	10. 4	京都印刷出版労組小川分会全員（ニップロ従業員）に解雇通知（長期争議はじまる）
10.15	共産党中央委（～18）、部分的核実験停止条約不支持、ソ連共産党を批判			10. 9	福知山地労協大会、原水禁運動をめぐって意見対立、休会（11.5 続開大会）
11. 2	最賃共闘連絡会議発足、全日自労など24単産	11.15	府立総合資料館開館	10.25	京都総評第13回大会（～26）、平和運動・組織問題をめぐり激論、不信任合戦となり運動方針・予算案など決定できぬまま休会
11. 9	三井三池炭鉱三川坑でガス爆発、458人死亡 ◇国鉄鶴見二重衝突事故、163人死亡	11.21	総選挙、当選1区＝自民2、共産1、社会1、民社1、2区＝自民2、社会2、民社1	11. 2	京都同盟会議、年末一時金獲得・物価値上げ反対決起集会
11.21	第30回総選挙、民社党前進				
11.22	ケネディ米大統領、ダラスで暗殺される。後任ジョンソン	12.10	参議院地方区補欠選挙、自民当選	12.15	京都総評第13回再開大会、議事運営をめぐって全面対立、京教組など8単産代議員入場せず定員不足で流会





7. 16	ニューヨークなどで人種暴動、「長い暑い夏」はじまる				
		7. 24	京都原水協、府内行進を迎えて、第10回原水禁世界大会京都大会	7. 20	新産別京都地連、第16回中央大会（～21）で4. 17スト反対表明の中央と対立
		7. 27	被災3県を結ぶ平和行進入洛、市内から山城、奈良へ単車パレード	7. 31	府職労委員長など執行委員10人、4. 17ストや原水禁運動の評価をめぐり辞意を表明
8. 1	第10回原水禁世界大会国際会議、ソ連代表団など脱退				
8. 2	米、トンキン湾で駆逐艦が魚雷攻撃をうけ海戦と発表、8. 4 米、北ベトナム爆撃（トンキン湾事件、のちデッチ上げと判明）				
8. 3	被災3県連絡会議主催、原水爆禁止広島・長崎大会（～7）、総評・社会党など参加	8. 3	京都原水禁、嵐山公園で原水爆禁止8. 3京都平和大会、7千人 ◇第10回原水爆禁止世界大会（～5）、市中行進と開会総会（京都府立大グランド）、3万5千人	8. 6 9. 13	全織同盟府支部、統一貫闘京都地区決起大会綾部・福知山地区同盟会議結成（地区同盟の第1号）
9. 23	日本平和委員会など中央実行委、米原潜寄港阻止集会（横須賀・佐世保）				
9. 25	共産党、神山茂夫・中野重治を除名（11. 9野間宏ら10人を除名） ◇沖縄県労協結成				
9. 27	総評など全国実行委、米原潜寄港阻止集会（佐世保・横須賀）			9. 30	京教組・全自交など6単産、京都総評幹団と話し合い、それぞれ「自己批判書」を提出
10. 1	東海道新幹線、東京・新大阪間開業			10. 6	京都総評第14回大会、6単産復帰、事務局長＝谷内口浩二（全金）
10. 10	第18回東京オリンピック開催（～24）			10. 9	福知山地労協大会、地労協方針批判の全通・全電通などの脱退を承認（10. 19 脱退した11組合、福知山地区労働組合協議会結成）
10. 16	ソ連・フルシチョフ解任、後任にコズイギン首相、第1書記にブレジネフ ◇中国、最初の核実験に成功と発表	10. 16	地域市民共闘・民主団体など、米原潜寄港阻止京都決起集会	10. 20	京都総評、中国核実験に抗議
		10. 30	京都総評・民主団体など、京都社会保障改悪反対共闘会議を結成	11. 11	京都総評、米原潜寄港抗議京都決起集会、佐世保へ15人の抗議団
11. 9	池田内閣総辞職（佐藤栄作内閣発足）			11. 16	京都総評・市労連・京交労組・市水道労組・社会党府本、「地方公営企業危機突破共闘会議」を結成
11. 11	全労と総同盟が統一し、全日本労働総同盟（同盟）を結成。会長＝中地熊造、書記長＝天池清次、136万人			11. 17	京都総評、京都市に対し水道料金値上げ反対と鉄柵除去を申入れ
11. 12	米原潜シードラゴン号、佐世保入港。現地で抗議行動			11. 27	京都総評民間単産共闘、中小企業危機突破決起集会。府庁までデモ、知事に対策を要望
11. 17	公明党結成、委員長＝原島宏治	11. 20	京都市会、水道料金値上げ修正案を可決	12. 3	京都総評、中小企業危機突破・秋季年末闘争・公務員賃闘勝利・春闘体制確立京都総決地方公営企業危機突破共闘会議の代表、京都市理事者・市会代表と共に政府や国会に陳情
		11. 27	京都洛北生活協同組合創立（京都生協の前身）	12. 4	
		11. 30	京都商工会議所、政府に金融引締め緩和や倒産防止策などの要望書提出を決議		
		12. 24	大阪高裁、京都市電スト（1951年）の控訴審で、「政令201号は憲法違反でない」と一審通りの解釈をとるが、量刑に誤りがあるとして原判決を破棄		
		12. 25	京都タワービル完成		

1. 10	ILO結社の自由に関する委員会（ドライヤー委員会）調査団、来日（23 見解提示、25 政府受諾、26 総評拒否）				
1. 11	同盟、初の賞金白書「賞金倍増と近代化への闘い」を発表	1. 11	末川立命大総長・住谷同志社大総長ら、米原潜寄港に反対するアピール	1. 15	総同盟府連解散大会
1. 28	総評、原水協脱退と原水禁加盟を決定	1. 26	社会保障改悪反対共闘会議、健保法改悪に反対して街頭ピラマキ	1. 28	全日本労働総同盟京都府地方同盟（京都同盟）結成、会長＝夏木瀬梅太郎（関電）、書記長＝鷲塚亨（本部）、結成大会に先だち全京都解散大会
2. 1	社会党・総評など13団体、原水爆禁止日本国民会議（原水禁）結成	2. 17	「最賃制確立・社会保障拡充・憲法改悪阻止・朝日訴訟を勝ちぬく大行進」入浴、府庁前で歓迎集会。府会・京都市会に要請	2. 1	京都総評・京都原潜寄港阻止実行委、原潜寄港阻止・日本核武装反対京都決起集会
2. 7	米軍機、北ベトナムのドンホイを爆撃（北爆開始）	2. 23	府医師会、健保法改定案に反対して1日休診（京都総評はこれに同調して健康保険改悪反対活動者会議）	2. 25	春闘共闘委、健康保険改悪反対・春闘勝利全京都決起集会
2. 20	労働者住宅全国協議会結成	3. 24	憲法改悪阻止京都各界連絡会議（京都憲法会議）結成	3. 14	京都総評、働く婦人の京都集会
3. 6	山陽特殊製鋼倒産（負債額480億円、戦後最大） ◇憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）結成	3. 26	全自交地連との集団交渉で、経営側、現行労働条件引下げを提案	3. 26	春闘共闘青年婦人共闘委、春闘勝利・日韓会談粉碎・原潜反対・ベトナム侵略反対全京都青年労働者決起大会
4. 13	韓国で韓日会談反対の学生デモ高まる	4. 1	立石電機、隔週2日休日制を実施	4. 10	京都総評幹事会、参議院選での社会党一党支持は不成立 ◇京都同盟、物価値上げ反対・憲法擁護・賃上げ闘争総決起大会
4. 17	ワシントンで空前のベトナム反戦デモ			4. 15	春闘共闘委、春闘勝利京都民間単産決起集会を午後2時から開催、ストで参加 ◇最賃共闘連絡会議など、春闘総決起集会
4. 23	国労を除く公労協8組合、半日スト。60年安保以来の規模			4. 23	全電通京都支部・三丹支部、半日スト実施
4. 24	ベトナムに平和を！市民連合（ベ平連）、初のデモ。のち組織結成			4. 27	全自運関西急送労組、賃上げ要求で時限スト。会社側、スト解除後にロックアウト（9.1 ロックアウト解除）
5. 11	中野好夫ら5氏、「ベトナム反戦一日共闘」をよびかけ（5.19社・共・総評など合意）	5. 11	橋本製作所、企業閉鎖と全員解雇を通告	4. 28	松竹・大映・東映各労組京都支部や分会・東映俳優労組、松竹撮影所閉鎖反対・大幅賃上げで合同決起集会
5. 17	国会、ILO87号条約承認、関係国内法改正案を可決	5. 15	京都勤労者福祉対策協議会（京都福対協）第9回総会、京都労働者福祉協議会（京都労福協）と改称	5. 1	綾部・福知山地方ではじめて分裂メーデー
6. 9	社共両党、ベトナム反戦で1日共闘（安保以来最大の規模）	5. 19	憲法を守る婦人の会結成	5. 8	東映俳優クラブ組合結成（代表・中村錦之）
6. 12	家永教科書裁判第1次訴訟	5. 22	ベトナムに平和を！京都市民連合（京都ベ平連）結成、京都集会	5. 14	全自交地連12組合、無期限ストに突入◇松竹労組、南座で24時間スト
6. 14	都議会、議長選汚職で解散可決（7.23 都議選、社会党第1党に）	5. 25	京都平民共闘加盟団体連絡会議、ベトナム・ドミニカへの侵略反対・安保廃棄京都大集会	5. 19	全自交地連、全京都ハイタク労働者道交法・道運法反対、春闘要求貫徹総決起大会
6. 22	日韓基本条約調印	5. 31	ベトナム侵略に反対する全京都・大学・文化宗教関係者集会	5. 25	京都総評、アメリカのベトナム侵略抗議映画のタペ
6. 28	米軍、南ベトナム解放民族戦線との戦闘に参			6. 5	全自交地連20組合統一スト（銀鈴タクシー労組で分裂、ほかでも分裂拡がる） ◇全電通京都支部、支部組合員2,400人処分に抗議して職場集会・団交・超勤拒否闘争
7. 4	第7回参議院選挙。公明党前進	7. 4	参議院選挙。当選＝自民1、社会1	6. 7	全通京都地本、当局の処分辞令を一括返上（地本委員長など2人の懲戒免を含む11人処分）、翌日から抗議集会
				6. 11	映演総連、京都地域決起集会。松竹京都撮影所閉鎖反対など決議
				6. 18	京都総評、公労協不当処分撤回・スト権奪還・日韓会談粉碎・ベトナム侵略戦争反対京都決起集会

				7. 9	社会・共産・京都総評の三者共闘（2年ぶり）、日韓会談粉砕・ベトナム侵略抗議全京都決起大会
		7. 10	府議会、アメリカのベトナム侵略反対と日韓条約反対を決議（民社・公明は退場）		
		7. 23	京都原水協、原水爆禁止京都大会		
		7. 30	京都原水禁、京都平和大会	7. 27	東映俳優クラブ組合、地労委で労組法に基づく労働組合と認定
		8. 4	東映京都撮影所、地労委が東映俳優クラブ組合を労組と認定したことに対し、地労委に公開質問状を提出（8. 16 俳優クラブ組合は親睦団体として発足するとし、労組は解散）		
8. 19	佐藤首相沖繩訪問、これに抗議して祖国復帰実現を要求する10万人集会	8. 15	府警、日韓会談批准反対・ベトナム侵略反対で四條河原町に座り込みの京都青年行動委員会メンバーを検挙	8. 12	松竹労組、京都撮影所閉鎖に合意（8月末閉鎖）
8. 30	反戦青年委員会結成			8. 25	京交臨時大会、市電の大幅ワンマン化合理化案に反対し、非常事態宣言
				8. 31	全国一般ナガサキヤ労組、全社ユニオン・ショップ制要求で無期限部分スト（9. 13 会社一部ロックアウト、9. 15 組合分裂、11. 24 ロックアウト解除）
9. 30	インドネシアで軍左派のクーデター失敗（10. 3 陸軍が共産党弾圧開始）	9. 30	関西の労働法学者有志による全自交地連問題調査団、会社側の不当労働行為を批判	9. 1	京交中間委、当局の修正提案で収拾を決定、拡大闘争委はこれを否決（市電ワンマン化は「当分2人乗務」で妥結）
				9. 30	京都総評第15回大会（～8）、安保共闘再開・社共一日共闘の修正案を否決
				10. 12	京都総評、日韓条約批准阻止・ベトナム侵略反対第2波全国統一行動京都決起大会
		10. 15	日韓条約批准阻止・ベトナム侵略反対のための京都反戦青年委員会（京都反戦青年委員会）結成、京都総評青年部・社青同・府学連	10. 17	全郵政京都府支部結成
		10. 31	京都母親大会実行委、憲法改悪阻止京都母親大会	11. 5	京都ハイタク労連結成、全自交地連の指導方針を批判
11. 6	衆議院日韓特別委、日韓条約案件を可決（11. 12 本会議で採決）、総評は非常事態宣言、国会周辺抗議デモ	11. 5	京都反戦青年委員会、日韓条約強行採決実力阻止全京都青年決起集会、7人逮捕、負傷者		
		11. 7	安保破壊京都実行委、日韓条約批准阻止等で全京都2万人大集会	11. 9	京都総評・社会・共産三者共催、日韓条約粉砕統一行動京都集会
11. 10	上海の新聞に歴史劇「海瑞免官」を批判する姚文元論文（プロレタリア文化大革命の発端となる） ◇全電通、春闘処分の賃金カットに反対し、1万7千のマンモス訴訟			11. 10	全電通京都支部、春闘処分は労働協約違反だとして547人が地裁に集団提訴
11. 19	政府、戦後初の赤字国債発行を決定			11. 18	全自交地連、258日ぶりに春闘妥結（11社で新組合結成）
11. 27	海員組合賃上げ争議、10日間の第一波ストに突入（1966. 1. 31 解決）			11. 26	京都総評・社会・共産三者共催、日韓条約粉砕・ベトナム侵略戦争反対・年末闘争勝利全京都総決起大会（12. 2も）
		12. 4	府主催、京都総評・京都同盟協賛、労組法施行20年記念勤労者のつどい	12. 1	全通京都地本・全電通京都支部、年末一時金・処分撤回などで超勤拒否闘争に突入
		12. 11	社会党府本選対委、市長選候補に岡本清一同大教授、知事選候補に蟻川知事を決定 ◇全学連京都学協、府学連再建大会	12. 10	京都総評、日韓条約粉砕、年末一時金完全獲得、知事・市長選勝利全京都総決起大会

1. 3	第1回アジア・アフリカ・ラテンアメリカ人連帯大会（～15、キューバ・ハバナ）	1. 5	共産党府委、安井真造副委員長を京都市長選候補に決定	1. 6	京都総評谷内口事務局長、京都市長選の革新六者会談（社会・共産・公明・民社・京都総評・京都同盟）は事実上解消したと発表
1. 13	古都保存法公布	1. 7	自民党府連、井上清一を京都市長選候補に決		
		1. 15	部落解放同盟府連大会。朝田委員長、「中央本部指示に基づく正規の大会である」と声明		
		1. 20	文化厚生会館事件（部落解放同盟府連事務所並びに会館の帰属をめぐる紛争）発生		
		1. 23	部落解放同盟府連（三木委員長）、部落解放要求貫徹・同対審査実施要求・京都総決起		
		2. 1	京都市長選挙、井上清一当選。ほかに岡本清一、安井真造など立候補		
2. 4	全日空機、羽田沖に墜落133人全員死亡	2. 3	府立勤労会館竣工		
		2. 16	部落問題研究所・奈良本所長ら4理事、「部落解放同盟内部の対立で職責が遂行できぬ」と辞任		
2. 18	鉄鋼労連、IMF・JC加盟を決定	2. 23	第1回府市民団体連絡懇談会、府医師会など65団体参加。蛭川知事推薦決定	2. 18	京都同盟第2回大会。会長＝松下林（全織同盟）、書記長＝上田末吉（全金同盟）
				2. 25	京都春闘共闘委、生活と平和の危機突破全京都労働者決起大会
				2. 26	京都労働者住宅生活協同組合創立
2. 27	春闘共闘委、物価値上げ反対・生活危機突破国民大会（初の物価メーデー）	3. 5	日本科学者会議京都支部結成		
		3. 11	自民・民社、浜田正（前府農林部長）を知事選候補に決定	3. 10	京都総評、知事選候補に蛭川知事を推薦し、社共両党に連絡事務所設置を提唱
3. 11	インドネシア・スハルト陸相ら政権掌握（3.12 共産党非合法化）	3. 15	知事選の候補者推薦をめぐる民社党府連は蛭川支持派と浜田支持派に分裂。蛭川支持派は民社党府連革新党員会議結成		
		3. 16	社会党・共産党・民社党府連革新党員会議など、民主府政協議会結成	3. 16	京都同盟、知事選で浜田候補推薦を決定
3. 25	都市委、地公企法改悪案反対で戦後初の統一スト			3. 25	京交、地方公営企業法改悪反対全国統一行動、始発時から1時間スト
3. 28	日共産党会談、国際共産主義運動統一についての話し合い決裂				
3. 29	鉄鋼労連、一部でスト権不成立。統一スト不能となる	3. 29	京都市交通局、25日のストを違法として847人（停職91人）の処分		
3. 30	全金プリンス自工、日産との合併にからみ全国金属脱退	4. 2	憲法を守る婦人の会、第1回くらしを守る京都婦人大集会	4. 9	京交、市交通局を相手どり、処分撤回で地労委へ不当労働行為救済申し立て（7.20 関与和解）
		4. 12	知事選挙。蛭川虎三5選。ほかに浜田正が立候補	4. 25	春闘共闘委、26日の統一ストにそなえ、3千人国労支援の徹夜ビケ
4. 26	公労協・交運共闘、統一スト。私鉄大手24時間スト	4. 27	参議院補選、自民当選	4. 26	京都同盟、「賃上げをかちとり、物価値上げに反対し、生活の向上を目指す」決起大会の公労協・交運共闘、実行行使。京阪・阪急は24時間スト
5. 11	松下電器労使、仕事別賃金制度採用で合意	5. 13	京都・府市民団体協議会（府市民団体）結成（府市民団体連絡懇談会を改組）、会長＝富井清、幹事長＝中野信夫		
		5. 21	国立京都国際会館開館		
5. 27	社会・共産・公明・民社の4党が小選挙区制反対で院内共闘声明			7. 5	京都総評・社共両党ら「日米貿易経済合同委員会反対・ラスク入浴抗議共闘連絡会議」を結成し、抗議デモ（6 決起集会、安保以来の最大規模）
5. 28	大阪釜ヶ崎で暴動（～31）				
5. 30	米原潜横須賀入港、連日抗議集会・デモ（～6.3）	7. 4	府公安委員会、日米貿易経済合同委員会開催中の京都国際会館周辺と都ホテル周辺のデモは不許可と決定		
6. 14	ILO87号条約発効。総評、ILO国内法改正で抗議集会				
6. 29	米軍、ハノイ・ハイフォン初爆撃				
7. 4	政府、新国際空港建設地を千葉県成田市三里塚に決定				
7. 31	総評第31回大会（～8.4）。議長＝堀井利勝（私鉄総連）	8. 28	民主革新会議結成、議長＝吉田文治		
8. 3	第12回原水禁世界大会、中国など15カ国脱退	9. 6	京都市、市電・市バス料金値上げ・交通事業長期整備計画を発表		
8. 15	総評緊急幹事会、日本母親大会不参加を決定	9. 7	京都府婦人センター完成		
8. 18	北京天安門前広場で文化大革命を祝う大集会。毛主席ら100万人の紅衛兵にあいさつ				

				9. 19	京交三役、中央委で「市電・市バス値上げ反対」の執行部決定が否決されたため、辞任申し出（9.27 撤回）
9. 22	総評、中央・地方最低賃金審議会への総評側委員の出席ボイコットを通告（1967年末復）	9. 20	安保破棄実行委、「ベトナム人民支援、市電・市バス料金値上げ反対、諸要求貫徹1万人京都大集会」、2回に分かれ集会とデモ		
		9. 30	京都市会、交通料金値上げを含む交通再建整備計画案を社会・共産・民社・公明反対で否決	9. 30	京都総評、最低賃金制の業者間協定方式存続に抗議し、最低賃金審議会に10月1日以降協力できぬと労基局へ申し入れ
				10. 4	京都総評、7月4日のラスク入浴反対デモ不許可処分は違憲と地裁に告訴
				10. 6	京都総評、朝日訴訟全国大行進迎え京都集会
				10. 11	京都総評第16回大会（～12）、「社会党中心」の選挙運動方針提案過半数に達せず
		10. 14	京都総評・社共両党、一日共闘で、「ベトナム反戦、10・21スト勝利京都決起集会」		
		10. 15	京都紀元節問題懇談会結成（京都総評、京都母親連絡会、京都仏教徒会議、日本科学者会議京都支部など30団体）		
		10. 18	蜷川知事、府職労の10・21スト参加計画に対して「職員の良い識に期待、事前に規制はしない」旨談話		
		10. 19	井上京都市長、10・21スト参加者には厳しい処分をする旨警告		
10. 21	総評、初のベトナム反戦10・21統一スト、500万人（同盟は統一スト反対と声明）			10. 21	京都総評、ベトナム侵略戦争反対、10・21スト勝利、秋闘第3次統一行動京都総決起大会」。デモ隊、警官と衝突し40人負傷。京都総評、警察へ抗議 ◇ベトナム反戦・公務員貫闘統一行動。自治労1時間、全電通は午前7時より円山集会とデモ、京教組午後半日休暇闘争など62組合・5万人参加（10.21反戦統一行動の始まり）
10. 24	日本共産党第10回大会（～30）。西沢隆二前中央委員ら除名				
10. 25	日中友好協会正統本部結成（日中友好協会分裂）				
11. 27	春闘共闘委、物価値上げ反対、腐敗政治追放国民大会（第2物価メーデー）			11. 15	京交中央委、市電・市バス料金値上げ問題について、値上げやむを得ないと条件つき承認
				11. 27	春闘共闘委、ベトナム侵略戦争反対・物価値上げ反対・佐藤内閣打倒・国会解散要求京都総決起大会
		12. 1	京都地方最低賃金審議会、機械金属製造業で職権方式（16条）による最低賃金制適用を答申（京都での第1号）	12. 1	京都同盟・民社党、佐藤内閣退陣大演説会
12. 15	衆議院本会議、史上はじめて全野党欠席のまま首相所信表明（27 国会解散）				
12. 17	総評民間単産会議発足（加盟29単産）				
12. 21	警視庁、10・21ストを違法行為とし、宮之原日教組委員長らを逮捕			12. 23	京都同盟青婦対策委、ダンスパーティ（以後毎年開催）
12. 31	宝樹全通委員長、「労働戦線統一と社会党政権樹立のために」を発表（太田前総評議長、これを批判）				

1. 6	米海兵隊、メコン・デルタ地帯に上陸。ベトナム参戦の米軍、47万3千人となり朝鮮戦争時を上回る	1. 6	井上京都市長、府警観閲式で倒れる（8 死去）		
1. 29	第31回衆議院選挙。公明党初めて議席獲得	1. 26	京都総評・京都市労連・社共両党・民主革新会議・府医師連盟・府市民団体協議会、全京都市民会議を結成。市長選に富井清府医師会長を推薦		
2. 11	初の「建国記念日」、各地で抗議集会	1. 29	衆議院選挙。当選1区＝自民2、共産1、公明1、民社1、2区＝自民2、社会2、民社自民・民社選対委、八杉正文元市交通局長の選挙母体「反共市民同盟」を結成（2.6 反日共市民同盟に変更）		
2. 13	公明党第4回大会。委員長＝竹入義勝、書記長＝矢野紇也	2. 5	京都紀元節問題懇談会、建国記念日に反対する京都集會。賛成派は建国記念日制定奉祝市民大会		
2. 14	同盟第3回大会（～16）	2. 11			
3. 15	日本共産党、「赤旗」で初めて中国共産党を名ざしの批判	2. 26	京都市長選挙、富井清当選。ほかに八杉正文	2. 25	全京都ハイタク共闘委員会結成、全自交・ハイタク労連・私鉄・中立など参加
3. 29	日本勤労者住宅協会（勤住協）発足	3. 17	京都勤労者学園創立10周年記念講演会	3. 18	京都同盟第3回大会。書記長＝藤下忠男
4. 4	IMF・JC、初の賃金闘争連絡会議、賃闘アピール	3. 20	食管制度を守る京都府民会議結成	3. 31	橘女子高校、組合活動で校内秩序を乱したと労組委員長ら7人、非常勤講師16人を解雇
4. 15	統一地方選挙、東京都で美濃部知事誕生	3. 30	府警、京都市教委の人事異動問題での傷害事件容疑で京教組佐藤昭夫副委員長ら7人逮捕（4.2 さらに3人逮捕）	4. 1	京都総評、春闘勝利3.30不当弾圧抗議決起集
5. 3	同盟、メーデーの近代化について総評などに申し入れ	4. 15	地方選挙。府会＝社会21、自民20、共産7、民社3、公明3、無所属7。京都市会＝自民28、社会13、共産12、公明10、民社9（民主革新会議、全員落選）	5. 1	第38回メーデー（福知山・丹後地区では分裂メーデー）、蜷川知事と富井市長が腕を組んで参加
6. 5	イスラエル、アラブ諸国と戦闘状態に入る（6.7 シナイ半島制圧。6.8 アラブ連合、停戦受諾）	4. 23	第9回働く婦人の京都集會。京都総評4年ぶりに参加	5. 18	京都総評、春闘勝利・健保・共済改悪反対京都決起集會
6. 17	中国、初の水爆実験成功	5. 18	府医師会、健保改定案に反対し、午後半日休診。6時から健保改悪阻止京都市民大会		
6. 19	民社党第9回大会（～21）、委員長＝西村栄一、書記長＝春日一幸	6. 22	健保改悪阻止全京都市市民大会実行委、全京都市民大会（7.12第2回府民大会、デモ・パレード）		
6. 22	社会主義協会、向坂派と太田派に分裂	7. 1	資本取引自由化第1次実施		
7. 1	総評第34回大会（～22）、労働戦線統一問題について原口全鉱委員長提案の4条件を承認し対立を回避	7. 19	総評第34回大会（～22）、労働戦線統一問題について原口全鉱委員長提案の4条件を承認し対立を回避		
7. 21	公害対策基本法成立（8.3施行）	7. 21	公害対策基本法成立（8.3施行）		
7. 30	第13回日本母親大会（～31）、総評など復帰	7. 30	第13回日本母親大会（～31）、総評など復帰		
8. 5	佐々木社会党委員長、健保特例法案の扱いをめぐって辞意（後任、勝間田清一）	7. 31	新宮津火力発電所建設反対の漁民、230隻の海上デモ。府内17漁協・労組など同建設反対府漁民大会	8. 1	総評全自交京都地方ハイタク労連結成（全自交地連分裂）
8. 8	東南アジア諸国連合（ASEAN）結成	8. 5	全自交地連の残留組合、全自交京都地連加盟労組連絡会議を結成	8. 5	全自交地連の残留組合、全自交京都地連加盟労組連絡会議を結成
9. 1	四日市の公害認定患者、初の大気汚染公害提	8. 14	京都総評、市電・市バス値上げに反対し、富井市長に申し入れ	8. 14	京都総評、市電・市バス値上げに反対し、富井市長に申し入れ
9. 15	総評・中央社保協主催、第1回高齢者中央集	9. 8	食管共闘、消費者米価値上げ反対・食管制度を守る全京都府民集會	9. 26	京交臨時大会、再建計画に反対だが、周囲の事情からやむを得ないとの態度決定
		9. 25	学生、市電・市バス値上げに反対して京都市議場で抗議、警官隊と衝突		
		10. 2	京都市会、市電・市バス値上げをふくむ交通事業財政再建計画案否決（10.4 富井京都市長、共産党との絶縁を示唆） ◇府議会、映画「祇園祭」制作協力を可決	10. 4	62年に解雇された市職労の元三役、5年ぶりに復職
		10. 9	部落解放同盟府連（朝田委員長）、府および府議会同和対策特別委に対し、同和予算の増額などを要請。府庁で「差別府政糾弾」決起	10. 11	京都総評第17回大会（～12）
		10. 13	府議会、部落解放同盟府連（朝田委員長）が同議会に提出した請願書の取扱いをめぐり社共対立。17日まで会期延長		
10. 16	アメリカ、ベトナム反戦週間（～23）				





1. 17	公明党初の大衆行動。佐世保市で米原子力空母エンタープライズ寄港反対大集会				
1. 18	同盟第4回大会（～20）、会長＝滝田実（全織同盟）、書記長＝重枝琢巳（全炭坑） ◇全国・中央両実行委共催、原子力艦隊寄港阻止佐世保大集会、4万7千人			1. 18	京都総評、原子力艦隊寄港阻止佐世保集會に動員指示
1. 19	米原子力空母エンタープライズ佐世保に入港、佐世保市でデモ・抗議集會（～23）	1. 27	灘尾文相、「岡田府教育長職務代理の昇格については、自民党内に異論があり、まだ結論を出せない」と発言 ◇映画「ドレイ工場」完成祝賀会試写会、3月1日から祇園会館で上映		
1. 29	東大医学部学生自治会、民主化要求でスト突入（東大紛争の発端）	1. 29	京都労働者総合会館建設準備会発足 ◇京都市会、40%の水道料金値上げ提案、浴場業者500軒スト突入（2.7 34%値上げ案可		
1. 30	南ベトナム解放民族戦線、南ベトナム全土で攻勢開始（テト攻勢）			1. 31	京教組、岡田実教育長職務代理問題は地方教育行政への不当介入だ、として自民党・文部省に抗議文
2. 19	国労・動労、5万人合理化反対第一波順法闘争に突入（2.27 第2波、3.2 半日スト）	2. 22	京都地裁、1958年の勤務評定反対闘争での京教組役員の地公法違反容疑事件に無罪判決（2.28 京都地検が大阪高裁へ控訴）	2. 1	全金日本計算器支部、本社を峰山から大阪へ移したため、団交場所をめぐる対立から長期争議に突入
2. 26	成田新空港建設反対の反対同盟と三派全学連、警官と衝突し多数の負傷者			2. 17	京都同盟第4回大会
3. 31	ジョンソン米大統領、北ベトナム爆撃の一方的停止を宣言。次期大統領選不出馬を声明	3. 14	府議会、「岡田教育長不承認は教育基本法の精神をふみにじる」とする決議案（社・共・公・純正会共同提案）可決	2. 25	京都春闘共闘委、物価メーデー、物価値上げ反対・大幅賃上げ・春闘勝利京都決起集會。6千人、嵯川知事、富井市長も出席
4. 1	チェコスロバキア共産党、自由化を目指す行動綱領採択（プラハの春）			2. 29	橘女子学園紛争、7人の完全職場復帰で1年ぶりに解決
4. 4	米黒人運動指導者・キング牧師暗殺され、各地に黒人暴動			3. 17	京都総評・自治労・市労連、民主府市政推進自治研京都集會。知事、市長も参加
4. 5	小笠原諸島返還協定調印			3. 29	国鉄定期代値上げ反対・5万人合理化反対乗客集會、京都駅中央コンコースで開催
		4. 8	京都機械金属工業会、化学一般工業も含めた「京都工業会」に改組	4. 7	保津川遊船労組、労働協約改定をめぐり第1波全面スト（5.21以降無期限スト、年をこ
		4. 11	嵯川知事・富井市長・末川博・住谷悦治ら112人の呼びかけによる「ベトナム人民支援委員会京都センター」結成	4. 16	京都総評常任幹事会、南区府議補選で数田京交委員長（社会党）を推薦。反主流派はこれに反対し、幹事会開催を請求
		4. 26	京都総評・原水禁・護憲連合・反戦青年委ら、沖繩奪還・春闘勝利全京都集會	4. 25	公労協統一行動。夜は春闘勝利京都交運共闘総決起集會
4. 28	沖繩返還デー、沖繩4カ所の祖国復帰要求県民総決起大会に20万人、北緯27度線上で本土と沖繩から参加して海上大会	4. 28	安保破壊京都実行委、沖繩・小笠原の即時・無条件・全面返還、ベトナム人民支援4.28国際「沖繩デー」記念京都大集會	5. 1	第39回全京都統一メーデー（二条城前広場）。同盟は京都地方労働祭（岡崎グランド）を開催し、分裂メーデーとなる（府下では綾部・宮津が分裂）
5. 10	フランスで学生などカルチェラタンを占拠（14日以降労働者ゼネストに発展 5月危	5. 3	ベトナム民主共和国代表団入洛（5.4 歓迎集會）	6. 6	京都労福協旅行会設立（翌年、生活協同組合として新発足）
5. 13	アメリカと北ベトナムのバリ和会議始まる	6. 14	6.14全京都共同行動実行委（京都総評、社会党など）、ベトナム反戦・日米安保条約粉砕全京都共同行動集會	6. 22	京都総評・丹後春闘共闘委、日本計算器争議支援全丹後総決起集會
6. 15	東京大学生ら、安田講堂占拠（6.17 警官隊導入、6.28 東大全共闘結成）	6. 19	京都府開庁百周年記念日	7. 11	京都総評、ソ連キエフ訪問代表団出発（～8.2）
6. 23	チェコスロバキア知識人、2,000語宣言発表。民主化推進よびかけ	7. 7	参議院選挙。当選＝自民1、共産1		
7. 1	核拡散防止条約に米・英・ソが調印				
7. 7	第8回参議院選挙。社会党減、公明・民社・共産は増加、タレント議員初進出				
		7. 28	「日中不再戦の碑」除幕式（嵐山中之島公		

				7. 31	日本プロセス争議（京都印刷出版労組小川分会）、3千余人の守る会に支えられ4年11か月ぶりに解決
8. 12	総評第36回大会（～16）			8. 7	全自教平安分会公然化（自動車教習所組織第1号）
8. 20	労働4団体の有力10単産書記長で構成する「労働問題研究会」発足	8. 14	美濃部東京都知事、蛭川知事を訪問、「沖縄をかえせ」の共同アピール		
8. 21	◇ソ連・東欧軍、事前通告なしにチェコ侵入、全土を占拠（抗議のゼネスト広がる）				
8. 21	社会・公明・民社、チェコ侵入に抗議声明（8.24 共産党、ソ連非難声明）				
9. 1	最低賃金法改正施行（業者間協定方式廃止、審議会方式中心）				
9. 4	日大の学園民主化闘争で機動隊が出動（以後再占拠と学生逮捕をくりかえす）			9. 12	国労・動労半日スト。拠点の西舞鶴機関区で初めて共闘
		9. 15	社会党府本第25回大会。委員長＝大橋和孝、書記長＝中野賢一		
10. 4	社会党第31回再開大会。委員長＝成田知巳、書記長＝江田五月				
10. 8	公務員共闘、人事院勧告完全実施などを要求し時限スト	10. 8	反戦・反安保10月行動委員会、反戦・反安保・沖縄基地撤去全京都労学決起集会、24人逮捕、負傷者多数	10. 8	公務員共闘全国統一行動、京交労組・京教組・自治労など、始業時から1～2時間のスト
				10. 15	京都総評第18回大会（～16）。新産別提出の運動方針全面修正案をめぐる紛糾、休会（再開大会は1969.3.5）
10. 21	10・21国際反戦統一行動、456万人参加。三派系全学連、新宿駅を占拠。警察、「騒乱罪」を適用	10. 21	国際反戦デー、民青系府学連全京都学生一万人集会、東本願寺までデモ。三派系府学連も集会、デモ。市内で反戦デモが午後から夜にかけてうずまく	10. 21	京都総評、ベトナム反戦・沖縄奪還・安保破壊・10・21国際統一行動全京都労働者決起集会
10. 28	総評幹事会、70年安保闘争で三派系全学連の共闘参加を認めずと確認			10. 23	京都総評・全日自労、第1回京都高齢者集会
11. 1	中国共産党、劉少奇の除名を発表			10. 29	京都同盟、沖縄本土復帰・北方領土の返還要求府下街頭ヒラマキ
11. 5	米大統領選、共和党ニクソン当選				
11. 10	沖縄主席・立法院選挙、初の公選主席に革新統一候補の屋良朝苗が当選			11. 15	都市交の賃上げ要求統一行動で、京交のみ交渉進展なく始発から8時までスト
		11. 19	大阪高裁、旭ヶ丘中事件差し戻し審で懲戒免職は有効と判決、取り消し請求を棄却	11. 17	京都総評、年末一時金勝利・くらしと健康を守る国民大行動全京都集会
		11. 20	京都社会保障改悪反対共闘会議、医療保険抜本改悪粉碎・国保危機突破11.20京都市民大映画「祇園祭」上映始まる（祇園会館）。京都総評ら支援		
		11. 25	京都宗教者平和協議会・京教組など24団体、靖国神社法案阻止京都市民集会		
		11. 26	原水禁・反戦青年委・京都べ平連ら、国際反戦デー全京都集会		
		12. 6	丹後織物工業組合、14日間の一斉休機を決定		
		12. 9	沖繩屋良主席入浴、社共両党・京都総評・府職労4者共催による府庁前歓迎集会		
		12. 17			
12. 20	社会党・総評など、反安保全国実行委員会結				
12. 29	東京大学、入試中止を決定				

1. 8	炭労、国有化要求闘争で退職届3万余通を政府に提出	1. 16	京大・立命館大学で学園封鎖始まる (17日京大で封鎖反対全学集会)	1. 16	前年から労使紛争が続く保津川遊船労組、総会で労働協約の破棄、自主運航を決議
1. 18	東大紛争に機動隊8,500人出動 (19 安田講堂封鎖を解除)	1. 23	京大学生部の封鎖、反対派が実力で解除。3日間の衝突でケガ人のべ600人 (立命大でも学生による実力解除)	1. 23	
1. 21	同盟第5回大会 (~23)	2. 1	近畿放送 (京都放送)、テレビ放送開始	2. 1	
2. 4	沖縄「いのちを守る県民共闘会議」・嘉手納基地で集会・デモ、5万5千人	2. 11	府立医大全学闘争委、青医連公認などを要求し、全学無期限ストに突入	2. 11	
2. 13	民社党第11回大会 (~15)、書記長=佐々木良作	2. 18		2. 18	運輸労連京都府連絡会
2. 20	米AFL・CIO、国際自由労連脱退を決定	2. 22		2. 22	京都労働3団体の有志、「京都労働組合主議協議会」準備会結成 (正式結成に至らず) ◇京都同盟第5回大会
2. 23	春闘勝利・物価値上げ反対・減税要求総決起大会	2. 23		2. 23	京都春闘共闘委、京都総決起集会
3. 3		3. 3	蜷川知事、「暴力学生集団は徹底的に排除すべきだ」と発言 (3.14 全共闘学生、府庁に押しかける)	3. 3	日雇健保改悪反対共闘、健保特例法延長粉碎・日雇健保改悪反対・要求貫徹3.3京都1万人集会
3. 6	八幡製鉄・富士製鉄、合併	3. 5		3. 5	京都総評第18回大会、5カ月ぶり再開。運動方針案を原案通り可決
3. 7		3. 7	京都勤労者学園、総評事務局長と同盟会長を招いて労働問題講演会	3. 7	
4. 2	最高裁、都教組動評事件で無罪判決	3. 8		3. 8	綾部地労協、全通物部闘争 (特定局局舎の国有化要求など) 支援集会 (3.15、3.22も集会・デモ)
4. 17	春闘統一スト、交連共闘を中心に48単産297万人参加、春闘史上最大の規模	3. 18		3. 18	全自交京都地連統一大会 (全自交地方連絡会議と京都ハイタク労連が統一)
4. 24		3. 23		3. 23	保津川遊船労組、保津川下り自主運航開始 (9.10 会社側の経営権放棄により解決へ)
4. 28	沖縄デー、沖縄連・沖実委・復帰協共催中央集会。沖縄では祖国復帰要求県民総決起大会◇フランス国民投票でドゴール政権敗退、大統領辞任を公表	3. 28		3. 28	春闘共闘第2次統一行動、春闘勝利・大幅賃上げ獲得・健保特例法延長阻止京都総決起大会、国労福知山客貨車区、午前中4時間スト
5. 1	第40回メーデー、10年ぶりに「内閣打倒」かかける	4. 17		4. 17	新産別地連統一スト、交連一斉ストなど (4万人参加でこれまでの最大規模)
5. 23	政府、初の公害白書発表	4. 24	安保条約反対・平和と民主主義を守る京都実行委員会 (反安保京都実行委) 結成	4. 24	
6. 5	沖縄全軍労、賃上げと解雇反対で24時間スト (米兵、銃剣で排除)	4. 26	京都反戦青年委など、70年安保粉碎・沖縄闘争勝利4.28総決起集会	4. 26	
6. 10	経済企画庁、日本の国民総生産が米国1につき第2位と発表 (1人当りの国民所得は20位)	4. 28	沖縄デー集会在分裂。沖縄連主催の4.28沖縄返還要求国民大会京都集会 (市役所前)。沖実委・安保破壊実行委主催の沖縄全面返還要求・安保破壊京都1万人集会 (円山)	4. 28	
6. 14	熊本水俣病患者112人、熊本地裁へ提訴	5. 1		5. 1	第40回メーデーを記念して府は植物園、京都市は動物園を無料開放◇京都駅で国労スト弾圧監視中の稲村弁護士を鉄道公安官が連行
7. 10	同和对策事業特別措置法公布・施行	5. 10	京都労協旅行生活協同組合設立	5. 10	
7. 20	総評第38回大会 (~24)、翌年の安保改定時にゼネスト決行を決議	5. 20	立命大に機動隊出動し封鎖解除。立命大共闘、「わだつみの像」を倒す	5. 20	
7. 21	アポロ11号月面着陸、人類初めて月面に立つ	5. 22	大学立法反対で京大共闘系学生、大学本部を封鎖 (5.23 機動隊、封鎖解除)	5. 22	全金畑鉄工支援の共闘会議結成 (4.23 会社、ロックアウト。のち第2組合誕生)
7. 23	同盟・民社・民社研など、「安保改定・民主主義を守る会」結成。駐留なき安保へ	6. 25		6. 25	京都同盟、安保研修会
8. 3	参議院、大学運営臨時措置法案を打ち採決	7. 20	社会党府本大会。委員長=坪野米男、書記長=竹村幸雄	7. 20	
9. 16	総評幹事会、反戦青年委改組・三派全学連排除などを確認 ◇ニクソン大統領、ベトナム撤兵発表	7. 27	府警、全通京都地本幹部5人を綾部市物部郵便局舎闘争で逮捕	7. 27	
10. 14	自民党、日米安保条約の自動延長方針を決定	8. 13	府警、ニュードライバー教習所争議をめぐり組合幹部ら4人逮捕	8. 13	京都争議団共闘連絡会議結成
10. 21	国際反戦デー、中央は社共統一集会、学生・反戦青年委など街頭ゲリラ活動、1,500人検挙	9. 21	府警機動隊、京都大学の封鎖を解除。56人を逮捕	9. 21	
		10. 1	京大教養部8カ月ぶりに授業再開	10. 1	
		10. 7		10. 7	京都総評、大幅賃上げ・合理化反対・国民諸要求獲得・沖縄返還・安保破壊全国一千万人討論集会 (反安保討論集会) 開始
		10. 21		10. 21	国際反戦デー、学生・反戦青年委の取扱いをめぐって分裂。京都総評主催の労働者総決起集会 (岡崎グラウンド)、安保破壊実行委主催の京都集会 (円山)

11. 1	大阪地方民間労組連絡協議会（大阪民労協）結成	10. 23	府教委、1958年の京教組動評闘争での18人の行政処分を全面取消し（全国で初めて）		
11. 5	全日自労など38組合、全民主勢力の統一のためのアピール発表（統一労組懇の瑞緒）	11. 5	物値上げ反対・有害商品追放・くらしと健康を守る第1回京都消費者大会	11. 5	京都総評第19回大会（～6）
11. 13	総評、佐藤訪米抗議11.13統一スト	11. 13	住みよい京都をつくる婦人の会結成	11. 13	佐藤訪米抗議・安保廃棄・沖縄全面返還・人勧完全実施要求京教組早期決起集会。4時から新産別、6時から京都総評主催の決起集会（13単産77組合、54,700人がストに参加）
11. 26	全国スモンの会結成				
12. 13	公明党・創価学会の言論・出版妨害問題表面	12. 12	府市民団体協議会、知事選挙新統一候補として鑑川知事を推薦		
				12. 15	京都同盟、物値上げ反対・減税・税制改革要求京都集会
12. 27	第32回衆議院選挙。自民党安定多数、社会党激減、公明と共産伸長	12. 18	京都労働者総合会館建設委員会発足		
		12. 27	総選挙。当選1区=自民2、共産1、民社1、公明1。2区=自民2、共産1、社会1、公明1		